

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

長野八ヶ岳農業協同組合（以下、「当組合」といいます）は、組合員の暮らしに安全と豊かさを提供し地域社会に貢献していく事、開かれた組織を構築し利用者への満足の提供していく事、地域に誇れるJAを確立するために行動していく事を基本理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

長野八ヶ岳農業協同組合

# I. 取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3）】

- お客さまにご提供させていただく金融商品は、人それぞれ「ニーズ」があるなか最適なものをご提案したいと思う一方で、ご提案する商品が多くなることは、結果的にお客さまにとって選びにくいと当組合は考えています。当組合では「投資に関する「ニーズ」にあった商品を揃えながら、商品数を絞ることがお客さまの将来の備えの一步だと考え、厳選した商品ラインナップをご提案します。また運用方法については、長期的な視点で安定運用を期待する「ベースとなる部分（コア）」と、比較的高いリターンや運用利回り等を期待する「相場の変動やニーズなどに合わせて付け加える部分（サテライト）」の2つに商品を分けてコア・サテライト戦略に基づいてご提案いたします。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

### <投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	4 (前年度末：4)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

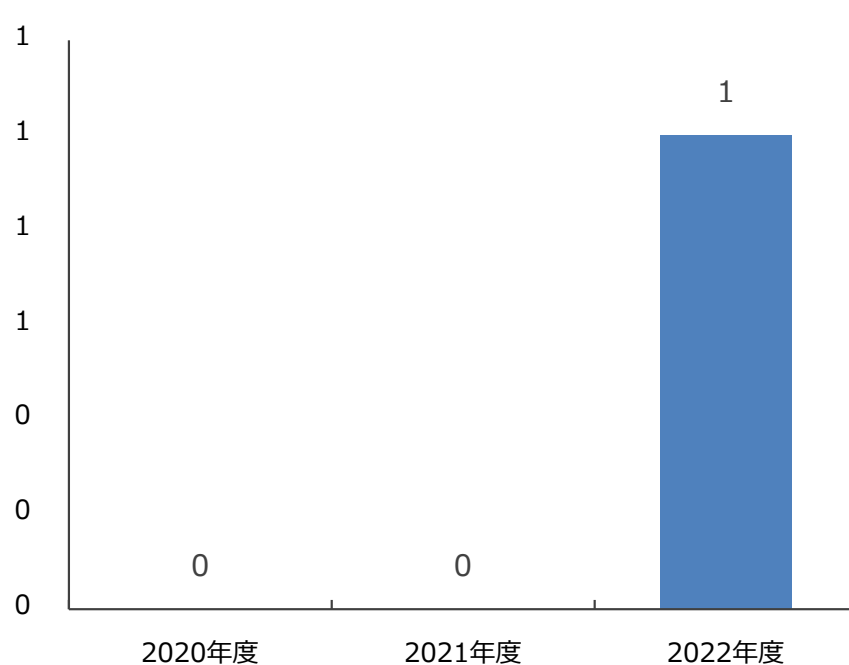
# I. 取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

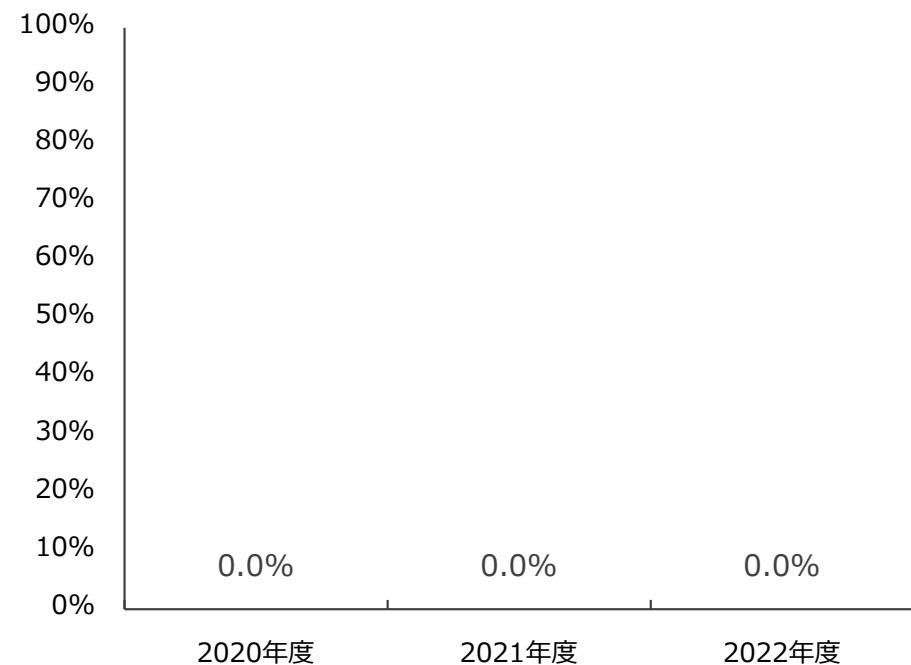
- お客さまに安定的な資産形成・運用をしていただくために、対話等により、金融知識、経験、財産、ニーズや目的などお聴きし、お客さま目線で適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性もご説明いたします。
- 投資経験が未経験、投資経験が少ないなど様々なお客さまがいるなかで、お持ちのお金を「使う・貯める」、「備える」、「遺す」、「増やす」に色分けをし、「JAバンク 資産運用スタイル診断シート」等の資料を用い、運用スタイルを確認させていただきます。
- 資産形成や老後の備えをお考えのお客さまに対して、NISA制度・iDeCo等の制度についてもご説明いたします。
- ご高齢のお客さまは、事前に確認させていただく等、「適合性の原則」に基づき慎重な対応を徹底しています。
- 手数料の多い少ないにかかわらずお客さまにとって適切な商品をご提案いたします。

### <投信つみたて契約件数の推移>

(件)



### <購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I .取組状況

---

## 2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様の運用スタイルとリスク許容度等の確認をさせていただいた後、「JAバンクセレクトファンドマップ」にて運用スタイルに合った商品のご提案をいたします。また、商品のリスク特性、手数料等投資判断に資するように重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。

# I .取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、手数料が多い商品のみを推奨して提案するなど、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。また、利益相反管理統括部署による、月次・四半期・年次モニタリングを行っています。

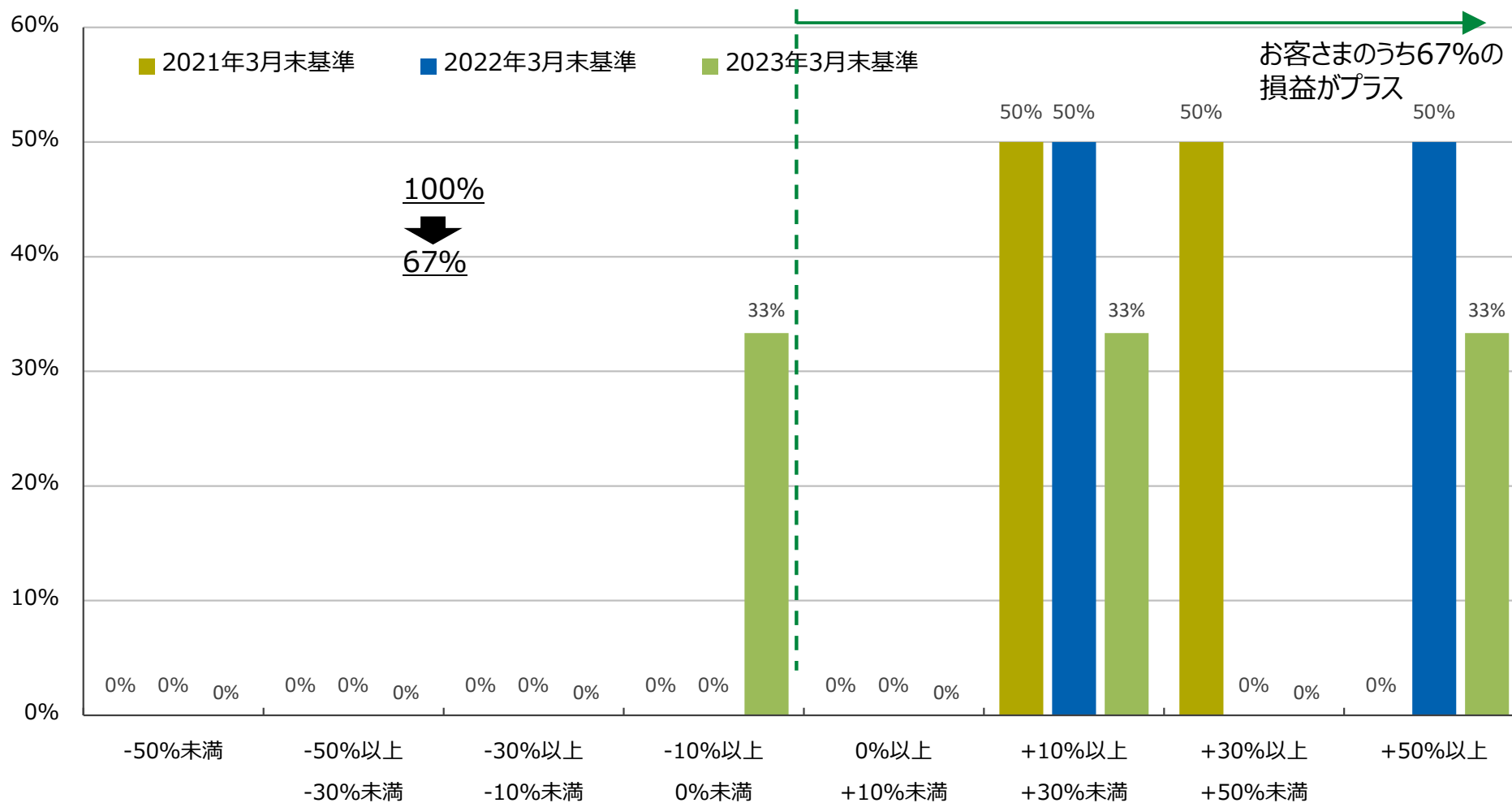
## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】 【原則7本文および(注)】

- 当組合では、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、資格の取得、定期的な各種研修会への参加、eラーニングおよび年に2回の通信教育の受講を継続していきます。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の67%のお客さまの損益がプラスとなりました。

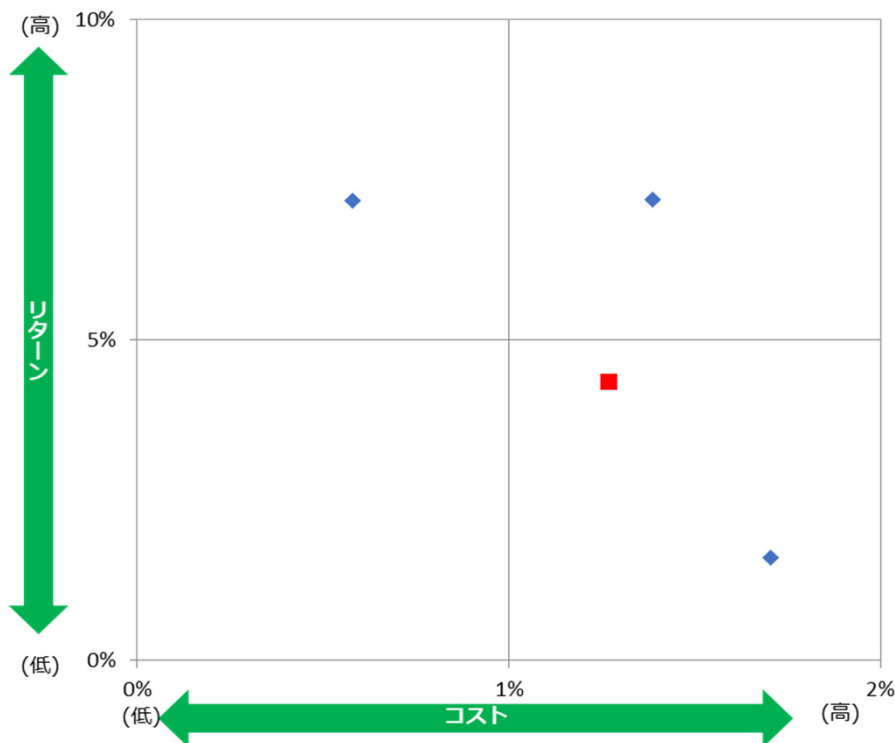


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

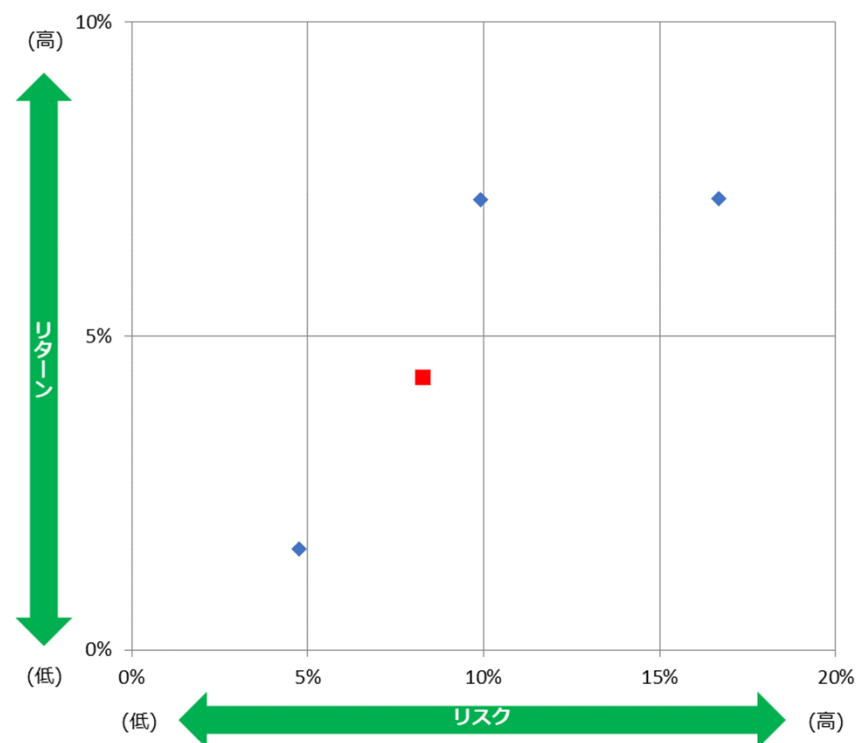
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.27%、平均リスク8.27%に対して、平均リターンは4.34%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

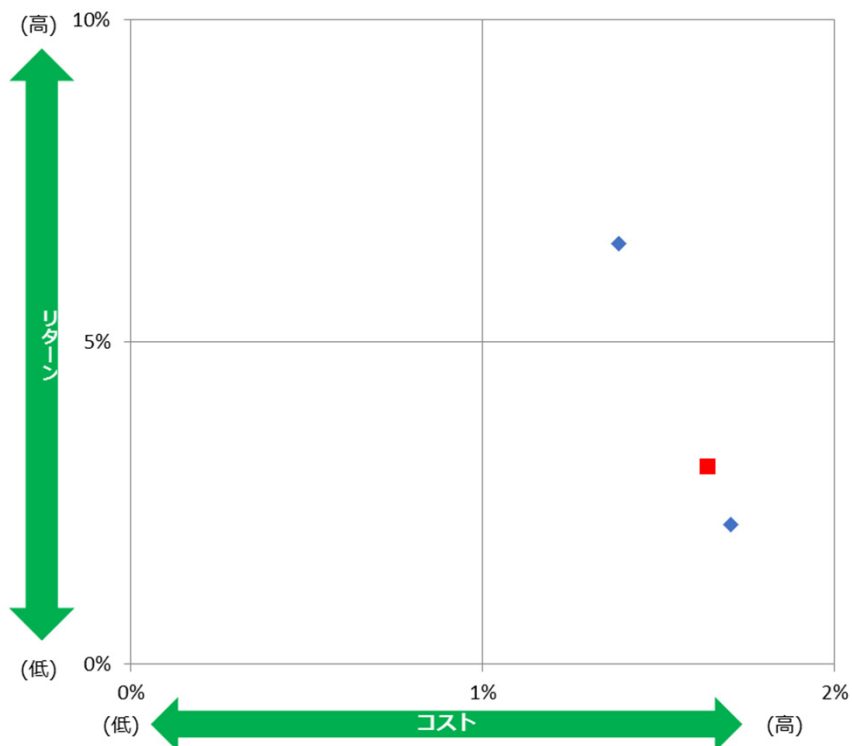
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

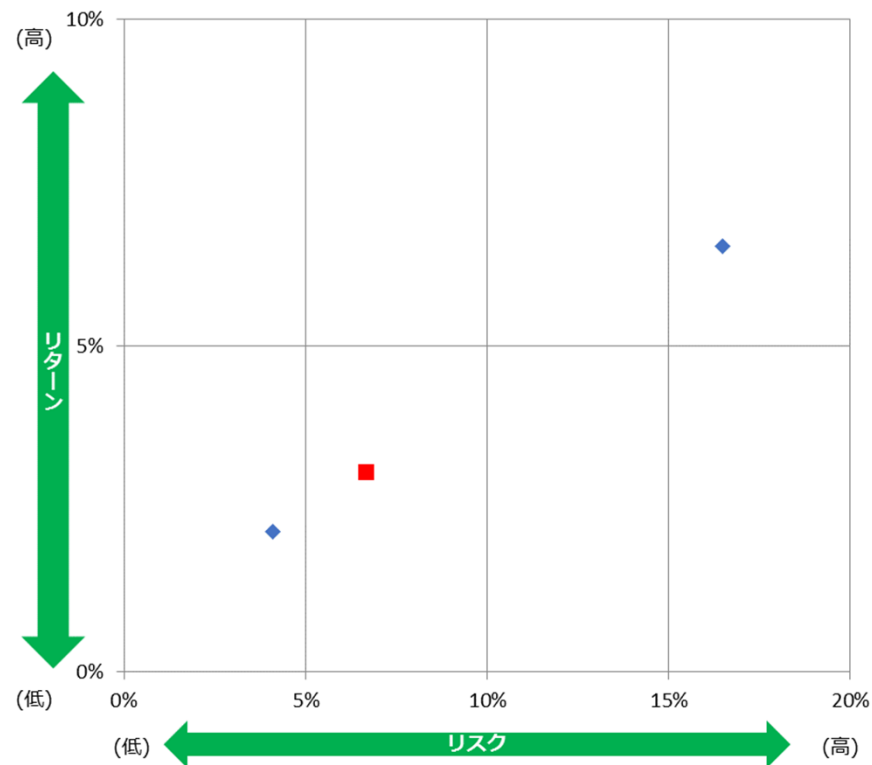
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.64%、平均リスク6.68%に対して、平均リターンは3.06%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

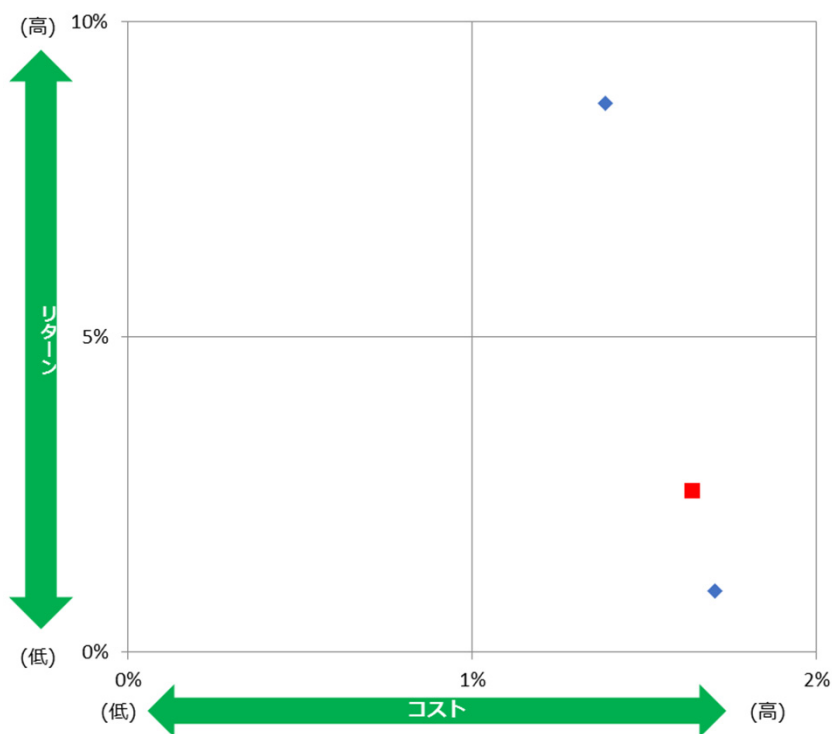


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

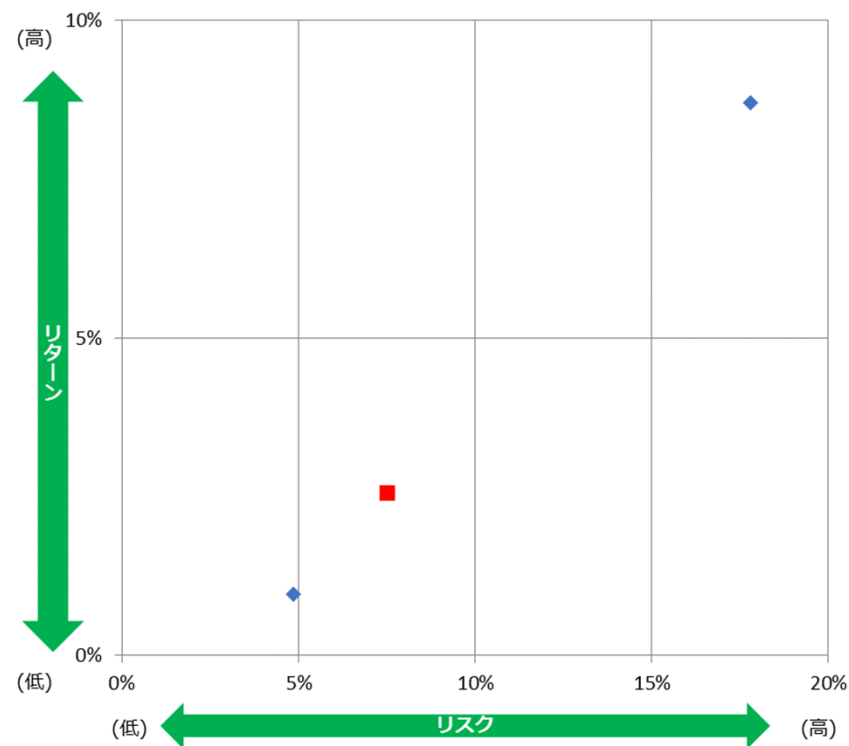
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.64%、平均リスク7.51%に対して、平均リターンは2.56%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	1.60%	4.75%	1.71%
2	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
3	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.20%	16.67%	1.39%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.34%	8.27%	1.27%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信（株）	2.16%	4.12%	1.71%
2	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	6.52%	16.48%	1.39%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		3.06%	6.68%	1.64%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	0.97%	4.86%	1.71%
2	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	8.71%	17.80%	1.39%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		2.56%	7.51%	1.64%

※ 2021年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。